平成 22 年度後半期東北地区日産婦学会・医会連絡会　議事録
日時：平成 23 年 2 月 27 日（日）午前 10:30－12:20
会場：江陽グランドホテル 4 階「銀河の間」

（配布資料確認）

１．議長選出
（宇都宮）
恒例ですと常任委員の東北大学八重樫が担当しますがよろしいでしょうか。
（一同、賛同）

２．開会の挨拶
（八重樫）始めに、初回にご案内しました資料で、10 時半開始のところが 10 時となっており誠に申し訳ありませんでした。
平成 22 年度後半期東北地区日産婦学会・医会連絡会を開始します。

３．報告事項

（１）　新名誉会員該当者、新功労会員推薦者　　宇都宮裕貴
（宇都宮）　本年度の該当者はございません。

（２）日産婦学会専門医制度中央委員会報告　　永瀬　智
（永瀬）
資料２を御参照ください。
来年度は 6 月 1 日～15 日　一次審査
7 月 30・31 日　二次審査予定です。

（３）日本産科婦人科学会理事会・総会報告　　倉智　博久、八重樫伸生
（当日配布した資料３　参照）
（倉智）
公益認定は順調に進んだ。
入会者数 524 名（産婦人科 477 名）、男女比１：２
理事候補者　東北から２名
不妊補助　年３回に改定
第６５回学術講演会のシンポジウム課題は 3 つになった（通常２つ）（資料 3 参照）
専攻医指導施設の要件が変更になった（当日配布資料　別紙 7 参照）

専攻医の要件が変更になった（当日配布資料　別紙８　P5 参照）
指導医の要件が厳しくなった
サマースクールの締め切りは 6 月 15 日と例年より早い

（岡村）公益法人化について補足
4 月 1 日より学会として認められる。これまで議決権行使書にあるように理事・監事の一括賛否だったが、これからは理事一人ひとりに確認が必要。
賛否の数も公開が必要。今後 6 月に総会があり役員が決まる。4 月の時点で次期理事長を選出する。吉村先生は 2 年務めたため、次回は変更になる。本日決まる東北地方の理事候補者は所信表明することになる。引き続き「地方部会」という名前は使わないようにする。全体ではよいが公益に関わる事業は黒字ではいけない。

質疑応答
（小田）A と B と分けることは、指導施設にとっての意義は？
（倉智）あくまでも研修医側からの目安であり、指導側からのものではない。
（寺田）分娩 200 件以下 3 年間などといった研修施設から外れる要件は？
（倉智）ここでは述べられないので、確認しておく。
（和田）東北地方で 4 人以上の医師がいる病院はどの程度あるのか？
（倉智）全国平均５．５人だが東北地方はきびしいことが推察される。
（水沼）「周産期を含む 2 分野の研修」とあるが認定医である必要があるか？
（倉智）決まってない

（４）第 131 回東北連合地方部会（青森地方部会）　佐藤　重美

（佐藤）ご案内のとおり 6 月 4･5 日に行う。最終的に弘前で行うことになった。
ASCO と重なっているので杉山先生の参加が困難。会長招宴も金曜に開催。
各県７－８題出していただきたい。

（５）第 59 回北日本連合地方部会（秋田大学）　寺田
（第 132 回東北連合地方部会）

ホームページからの閲覧できる。
若い先生からの演題を中心に一般演題を広く募集したい。
レクリエーションは現在各大学に問い合わせ中。
懇親会は各地の B 級グルメを集めたいと考えている。

（６）第 133 回東北連合地方部会　　寺田

（寺田）平野先生に会長をしていただきます。

（平野）平成 24 年 6 月 2･3 日に秋田市で開催予定です。

（７）学会の公益法人化移行について

（先ほど議論したため、追加なし）

（８）その他

（倉智）第 60 回北日本産婦人科学会

9 月 8･9 日予定、7 日にレクリエーション

４．協議事項

（１）第 63 回日産婦学会総会の総会運営委員会委員及び予算決算委員候補者の推薦について

八重樫

（八重樫）先立って 6 大学教授で打ち合わせたところ、慣れた人が良いのではとのことで、運営委員は上原先生、予算決算委員は順番では秋田・山形・岩手の中から選出がよいかと思う。この会が終わるまでに事務局にお知らせください。

（２）理事候補者の選出について

（倉智）1 期 2 年で交代の約束でしたので降ろさせていただきたい。

（八重樫）会の前の 6 大学教授の打ち合わせで、水沼・八重樫でいかがでしょうか。

（一同承認）

（３）　監事候補者の推薦について

（岡村）2 年務めてきたが、もう一期、監事候補者を務めさせていただきたい。

全体で選ばれるかどうかは理事長の判断。（一同承認）

（４）来年度以降の東北地区日産婦学会・医会連絡会について

前半　H23 年 6 月 5 日　弘前　8：00～8：30

後半　H24 年 3 月 4 日　仙台　（2 月末は大学入試の面接があるため）

（５）第 135 回日産婦学会東北連合地方部会総会並びに学術講演会について

（当日資料 1 参照）

（八重樫）北日本連合と学会主催が重なるため、案として平成 25 年～27 年の順番を変更するのはいかがか？

（倉智・藤森）医会と相談させてほしい。

（八重樫）6 月の東北連合で決めたい（継続審議で）

（６）日本産科婦人科学会東北連合地方部会会則の改定案について

（八重樫）　前回の役員会でも提出したものですが、ご意見は？

⇒なし

（資料 9-11）続けたほうがよいので、幹事の任期は 2 年とする

（７）東北地区産科婦人科学会・医会連絡会規約（案）について

（八重樫）

（資料 10-４）の「学術講演会長」→「学術集会長」に変更

（資料 10-6）の名称は「医会東北ブロック会会長」はこのままでよいか。

（中川）とりあえず、このままで。

（８）その他

（八重樫）

北日本連合地方部会の名称を「北日本産科婦人科学会」でよいか？

⇒（継続審議）

文責　東北大学

宇都宮裕貴（幹事）